

ワークブック 方言で考える日本語学

松丸真大・白岩広行・原田走一郎・平塚雄亮

2023年春刊行 鋭意編集中

第1課	私たちは日本語を知らない	10
第2課	母音と子音	18
第3課	五十音図と特殊拍	26
第4課	アクセント	34
第5課	形態素	42
第6課	語と句	50
第7課	格ととりたて	58
第8課	複文	66
第9課	活用	74
第10課	ヴォイス	82
第11課	アスペクト・テンス	90
第12課	モダリティ	98
第13課	待遇表現	106
第14課	語彙	114
第15課	言語変化	122
第16課	方言研究の方法	130

第5課

形態素

言語を記述する

■基本問題1

(1a)~(3f)の情報をもとに、下線部を埋め、意味を持つパーツをリストアップしてみましょう。例えば、“過去”を表すのはどんなパーツでしょうか？(1a)と(1b)、(2a)と(2b)を比べることから始めるといいかもしれません。なお、これらは音素表記です。

- | | | |
|-----------------------|---------------------|-----------------------|
| (1a) jassa 安い | (2a) bjuuwa かゆい | (3a) harra 軽い |
| (1b) jassata 安かった | (2b) bjuuwata かゆかった | (3b) harrata 軽かった |
| (1c) jassaka 安ければ | (2c) bjuuwaka かゆければ | (3c) harraka 軽ければ |
| (1d) jassaku より安い | (2d) bjuuwaku よりかゆい | (3d) _____ より軽い |
| (1e) jassakuta より安かった | (2e) _____ よりかゆかった | (3e) _____ より軽かった |
| (1f) _____ より安ければ | (2f) _____ よりかゆければ | (3f) harrakuka より軽ければ |

“過去”：_____

上の言語は、沖縄県八重山郡竹富町黒島で話されているもの(黒島方言とします)です。この言語では、例えば“安い”は jassa と言い、“過去”は ta で表します。そして、これらは必ず jassa-ta という順番で並びます。また、“より安かった”は jassa-ku-ta のように“安い-比較-過去”の順で並びます。このように、その言語を知らない人にも理解できるようにある言語のありかたを説明することを、「言語を記述する」といいます。言語記述の範囲は、実際には、上で扱った語内部の構造だけではなく、前の課で行った音韻的な記述や、もっと先の課で触れる意味的な記述なども含みます。

これからのいくつかの課では、方言を含めた日本語の記述全般に用いられてきた、言語を構成するパーツを分類、整理していきます。これらのパーツの分類は以降の解説でも使用しますので、ざっくりと理解してください。しかし、重要なのは用語としてそれらの名前を覚えることではありません。パーツのふるまいを理解し、うまく分類、整理すると記述が効率的になる、ということが大事なのです。そして、日本語とは標準語だけを指すわけではありませんから、

42

2023年3月刊行予定 予価 2200円

教科書へ採用をお考えの方

サンプル提供可能です。くわしくは、担当池上 Ikegami@9640.jp へ



くろしお出版